



基幹施設

医療法人コミュニテ 風と虹
のぞえ総合心療病院



< 専門研修プログラム名 >

のぞえ総合心療病院連携施設 精神科専門医研修プログラム
～あらゆるライフサイクル、あらゆる疾患に対応出来るような専門医を目指して～

2019年度専攻医及び後期研修医募集

CONCEPT この世にある全ての資源を治療の為に

We make good use of all resources in the world for your treatment

のぞえ総合心療病院とは

米国メニンガークリニックをモデルとした「治療共同体モデル」に基づく日本唯一の「力動的精神医学的チーム医療」を導入している民間の精神科病院です。

現在は、風と虹グループとして久留米厚生病院（平成31年8月にのぞえの丘移転）筑後いずみ園（情緒障害児短期治療施設）と3施設で精神医療の連携を図っています。

「力動精神医学的チーム医療」は従来の記述的チーム医療とは異なり、薬物療法だけに偏らず、従来の階層秩序による治療関係ではなく、医師や看護師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士など、全てのスタッフと患者の関係を、個人と集団の力を用いて治療を行なうものです。

患者の持つ健康な能力を引き出し、悪性の退行に陥りやすい境界水準の病理をもつケースさえも治療可能にしている。このような治療ソフトをもとに精神疾患の系統的な理解や治療は当然であるが、生物学的、心理・社会的の多方面から患者を理解することを学び、「力動精神医学的チーム医療」の主治医として、薬物を処方するだけの精神科医ではなく、スタッフチームにおける精神科医の役割と責任を学び、より成熟した臨床的能力が獲得できます。

のぞえ総合診療病院の特徴

1. 基幹施設となるのぞえ総合心療病院は全病床**150床**（3単位）が**精神救急病棟**の認可を受けており、広範囲の地域のニーズに応じて24時間体制で速やかに引き受け殆どが1～2か月の**短期集中的入院治療**で早期に地域生活に戻しています。
2. 実績の背景には、薬物療法、作業療法、**集団精神療法**など当院独自の治療ソフトや全職種スタッフへの徹底した情報共有の仕組みがあります。薬物療法は必要最小限にしながらも、病状によりECTや治療抵抗性の統合失調症には**クロザピン治療**も積極的に行います。
3. また、作業療法や疾患・課題別の**集団精神療法**を日常的に用いたり、デイケアや訪問看護、宿泊型訓練施設やグループホームなどの治療資源を駆使し、地域活動支援センターを中心に、当事者による地域ボランティア活動、就労（就学）支援など、地域を巻き込んで展開しています。
4. こうした多元的な治療は、院内LANによる**電子カルテシステム**と**毎朝の全体スタッフミーティング**（総合診療会議）で共有され、組織と治療の統合が行われています。

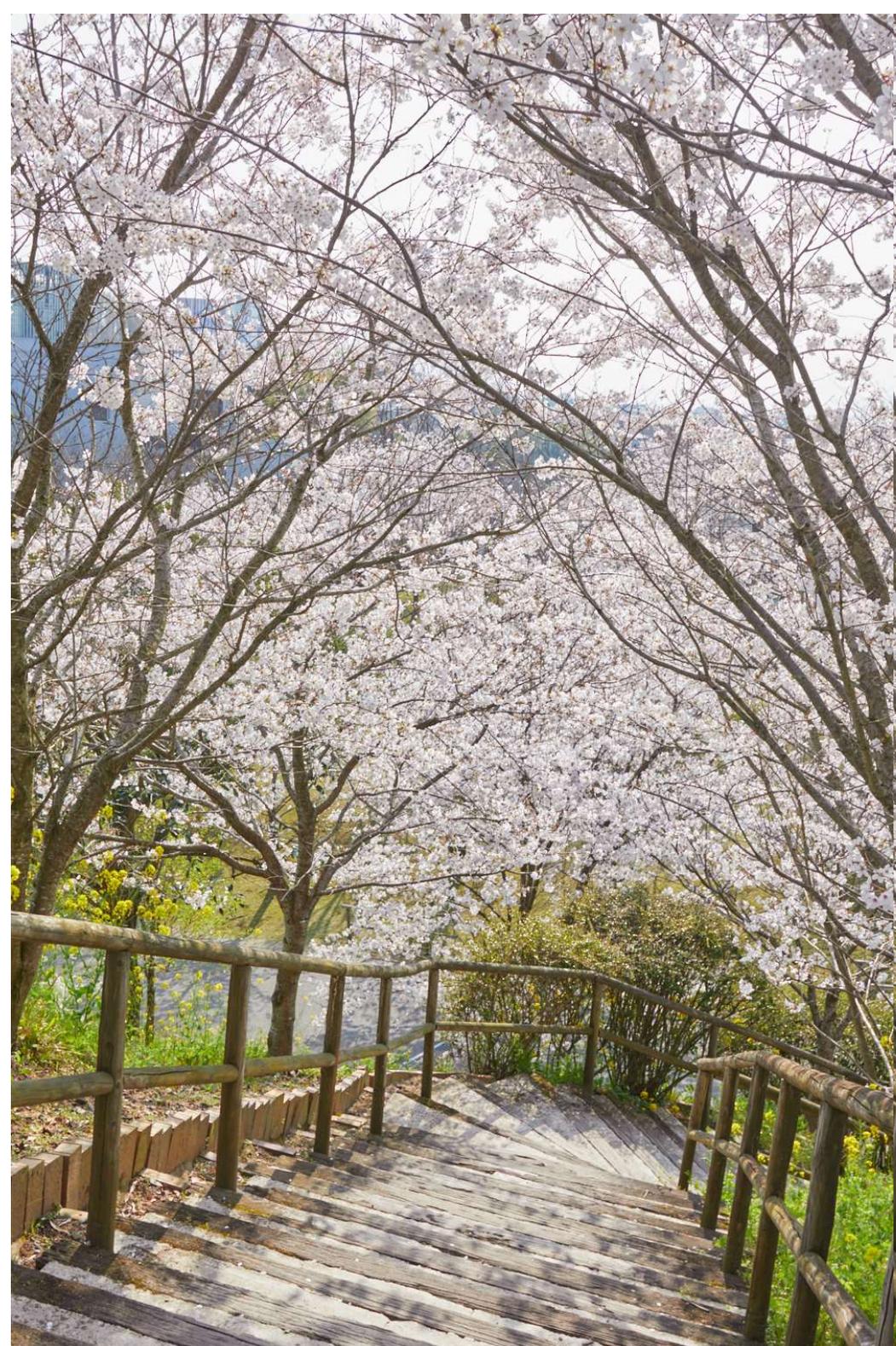
「のぞえ総合心療病院 専門研修プログラム」について

本プログラムは民間の精神科病院である「のぞえ総合心療病院」が基幹施設となり、それぞれ特徴ある連携施設と協力します。

3年間の研修プログラムを通じて、精神科医としての幅広い臨床経験を積み偏りのない精神科専門医、精神保健指定医を養成することを目指します。

特定医師の業務を体験したあと、専門医、指定医についてのレポートの添削や面接の予行練習なども行い、一人前の精神科になるように最後までサポートしていきます。

新専門医制度が始まる前より、後期研修の受け入れを行ってきており、平成20年以降、少なくとも15名程度が精神保健指定医の取得を行ってきた研修実績があります。





のぞえ総合心療病院 専門研修プログラムの特徴

◆ 当研修プログラムのメリット ◆

- ① 圧倒的な症例数、幅広い疾患
- ② 充実の指導体制
- ③ 働きやすい職場

専門医プログラムの特徴 メリット1

圧倒的な症例数、幅広い疾患

3年間のプログラムを通して、超急性期から慢性期の全ての病勢期、児童・思春期から老年期までのあらゆる年齢の精神疾患、任意入院・医療保護入院・措置入院などの精神保健福祉法に準じた入院症例、そして地域生活復帰や社会復帰など、多彩な経験をすることができます。

また、専門医のみならず精神保健指定医の資格取得に必要な症例も充分に集めることができます。

専門医プログラムの特徴 メリット2

充実の指導体制

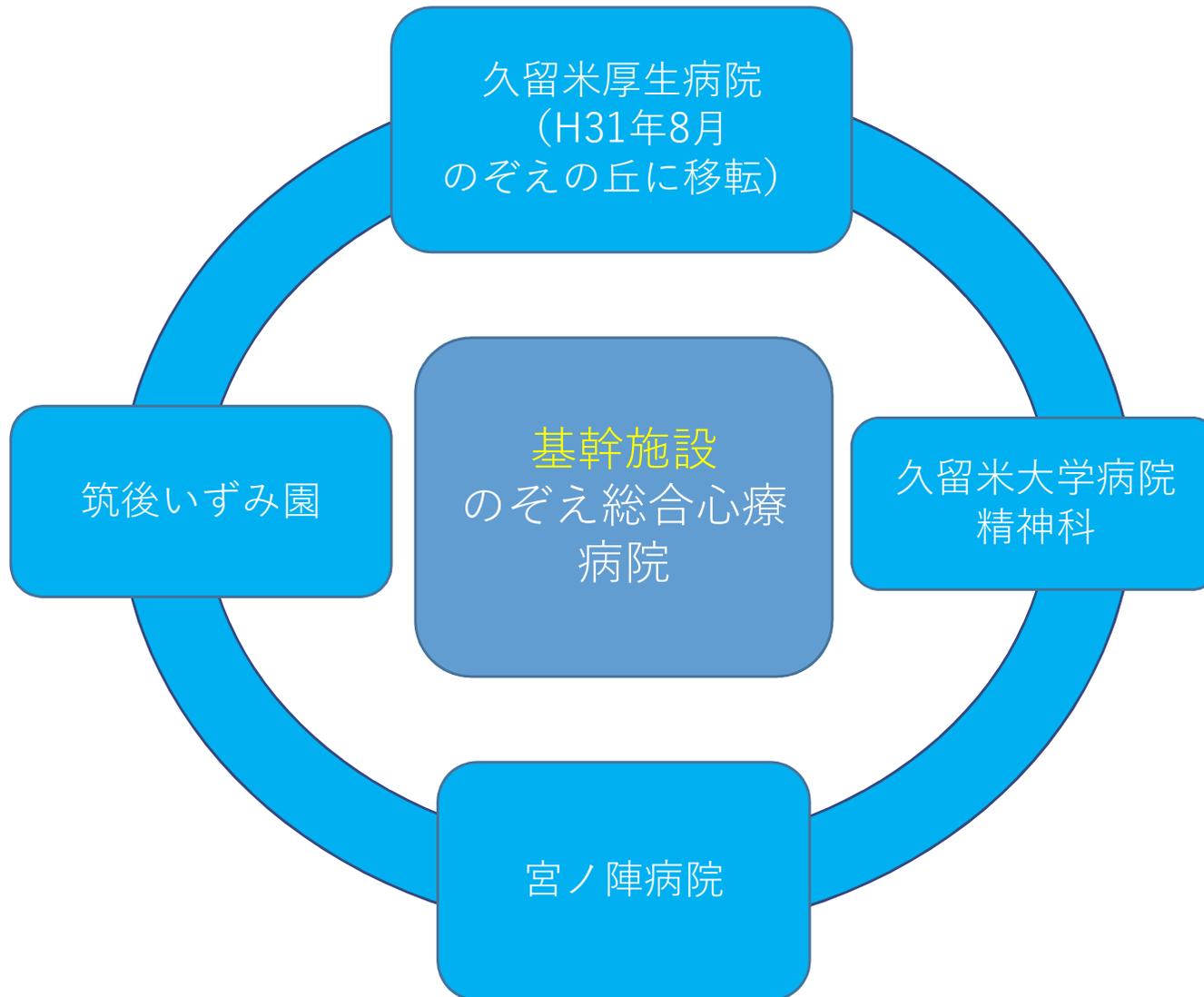
- ◆ 朝の全体ミーティングや回診では上級医の発言や患者への声掛けなど、**情緒的交流**を行いながら、**研修医が自然と学んでいく機会が毎日あります。**
- ◆ ベテランの上級医による**スーパービジョン（事例検討会）が週3回あり、薬物療法や診断、面接の仕方などトータルでアドバイスを受けることができます。**
- ◆ のぞえ精神医療セミナーが新人職員研修の一つとして行われ、他の職種と同様に**力動精神医学的チーム医療や精神医療の基礎を学んでいきます。**
- ◆ 主治医となっても**必ず、患者それぞれに必ず上級の専門医が指導医となり、そのケースでの対応や家族面接など、相談できる体制を作っています。**

専門医プログラムの特徴 メリット3

働きやすい職場

- ◆ 経済的な基盤がしっかりと保証されるので、アルバイトしなくても研修だけに時間を費やすことができます。
- ◆ みんなで患者を診ているからこそ、年間5週間の研修休暇が与えることが可能であり、仕事以外にリフレッシュすることが可能です。
- ◆ 研修委員会、医局ミーティングなど様々な場所で研修の状況が報告され、研修医の状況にあった勤務体制が考慮されます。
- ◆ 医局は開放的で、秘書課がいつもお菓子やコーヒーなど準備してくれています。
- ◆ 子育て中の女性医師についても、臨機応変に勤務時間、勤務内容などについては考慮出来ます。

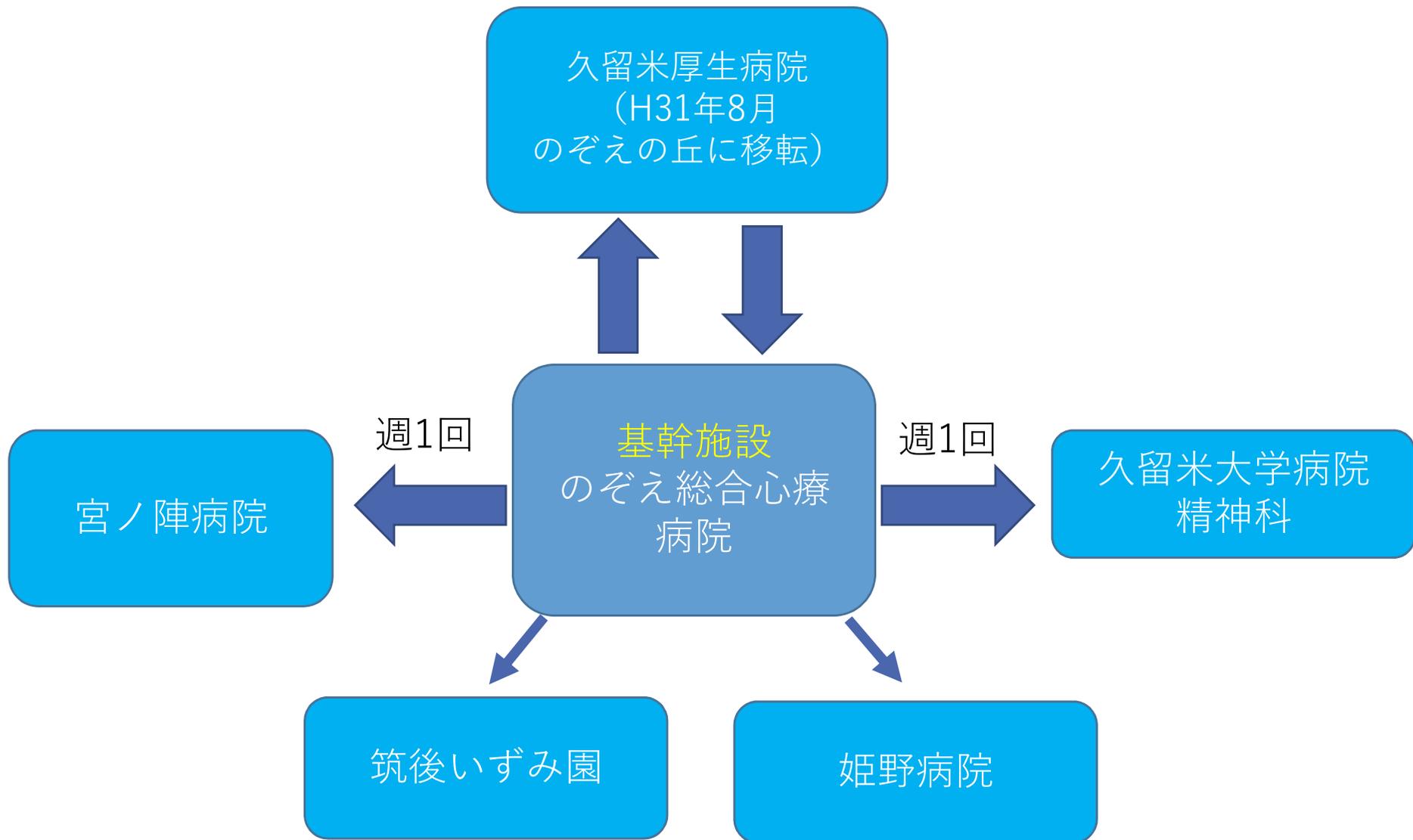
専門研修施設群



<各研修領域>

- のぞえ総合心療病院
→精神科common disease
精神科救急、児童思春期
- 久留米厚生病院
→地域精神医療、慢性期対応
- 宮ノ陣病院
→認知症疾患
- 久留米大学病院精神科
→精神科リエゾン
- ▲ 福岡県立筑後いずみ園
(情緒障害児短期治療施設)
- ▲ 姫野病院
→精神科リエゾン
(腎透析、認知症疾患合併)

専門研修プログラム ローテーションモデル（予定）





のぞえ総合心療病院

専門研修プログラム 年次到達目標

精神科医になるための準備期間 ～**入局3ヶ月間**～

- ◆ 研修開始後、3ヶ月間は患者を受け持たず、のぞえ精神医療セミナーへの参加や患者・スタッフミーティングへの参加を中心に行い、治療共同体モデルに基づく力動的チーム医療といった当院の治療文化を体験する期間にあてています。
- ◆ 3ヶ月間の体験期間の終了後より、それぞれの臨床力を考慮しながら、目安となる受け持ち患者数を設定して、主治医となります。
- ◆ 主治医となった場合は、あらゆる疾患の患者を受け持つことになるが、常にその患者に対して指導医がついてアドバイスをもらえる環境があります。



のぞえ総合心療病院

専門研修プログラム 年次到達目標

典型症例の入院患者 3 名程度の主治医～**入局 1 年目**～

- ◆ 患者及び家族との面接の実践
- ◆ 疾患の概念や病態の理解があり、標準的な治療を学ぶ
- ◆ 精神療法の理解、実践
- ◆ 精神保健福祉法の理解と正しい運用
- ◆ 集団精神療法と治療共同体の理解
- ◆ 九州佐賀分析研究会 事例検討会 事例提示



のぞえ総合心療病院

専門研修プログラム 年次到達目標

入院患者 5 名程度の主治医 ～入局 2 年目～

- ◆ 精神科救急の対応を学ぶ
- ◆ 精神科リハビリテーションの理解
- ◆ 集団精神療法において中心的役割を担う



のぞえ総合心療病院

専門研修プログラム 年次到達目標

入院患者 8 名程度の主治医 ～入局 3 年目～

- ◆ 特定医師としての業務を学ぶ
- ◆ 学会発表（九州精神神経学会）を行う
- ◆ 精神保健指定医・精神科専門医取得のための
- ◆ 症例レポートを作成

研修医からのメッセージ

私は初期研修終了後に精神科医としてのぞえ総合診療病院に**勤め始めて2年目**になります。専門医と精神保健指定医の資格を取得することを目標に日々研修を受けています。

当院は150床全てが救急病床で、症例数が豊富で、**半年ほどで専門医と精神保健指定医取得のための症例は集まります**。研修内容としても、初年度に指導医に付き、病棟回診や診察に陪席、各種集団精神療法を経験することが出来ます。指導医の先生や各種専門職(看護師、PSW、CP)から精神科に関するセミナーを受講することができ、精神保健福祉法や入院形態(医療保護入院、措置入院等)、各種疾患別治療グループなどの専門的な知識を身につけることが出来ます。また、指導医：院長(月・木)、Dr坂口(火)、Dr小原(金)による毎週4回の症例検討会では実際に持っている症例を報告し、指導を受けることが出来ます。

また、関連病院の久留米厚生病院がのぞえ総合診療病院近くにH31年に新しく建て代わり、児童思春期の患者さんを受け入れられる病院が出来るとなり、発達障害やゲーム・ネット依存、愛着性障害など多様な児童期の症例を経験できる病院へと変わっていきます。上級医に相談を受けやすい安心できる環境下で数多くの症例を経験することで臨床経験を積み重ね、臨床医として成長できると思います。

精神科診療に興味のある方は、ぜひ1度見学してみませんか？

(永田善久医師：平成29年4月入局)

先輩医師からのメッセージ

【当院の研修システムのからくり】

学生の頃から疑問でした。医学教育ではいつも総論から始まり各論に入っていく。しかし必要な流れはその逆だろうと。まずは医療現場で役割と責任を持ち、病を抱えている患者と出会い、関わり、疑問や模索をする。必要に迫られた状況で、動機を持つことが全ての始まりのはず。脳で学ぶ学習ではなく、臨床医として情緒的に刺激された心が、脳と身体を使って学ぶこと。つまり医療現場に入って学ぶといった各論を積み重ね、年月かけて自分の総論が出来上がることが自然な形だと思います。

研修医にも個々の特性があり、伸びていく分野と時期が個々に異なります。彼らには、無理のない個々のペースで自然に成長するような環境が必要です。

当院の臨床現場では、患者の病態と人格特性に焦点を当て、生物的・心理的・社会的の三軸でアプローチされます。精神科医が責任者となり、看護師・ソーシャルワーカー・作業療法士・臨床心理士から成る多職種チームが関わり、患者集団による情緒的・社会的体験の中で、個々の治療が展開するようになっていきます。当院の電子カルテ統合システムもこうした臨床ツールとして、治療ソフトとハードのすべてが治療のために統合されます。

当院の研修システムは、こうした臨床現場の中で研修することにより、いつの間にか精神科医としての個々の素養や感性が磨かれ、そして成長できる「からくり」が組み込まれています。

(診療部長：連理貴司医師)

先輩医師からのメッセージ

【研修医の成長を見守り続けることが出来る病院】

当院での研修の一日は指導医についての朝の回診から始まり、その後、電子カルテを駆使し、全職種で議論し合う全体診療会議に参加します。

そして数か月間は指導医の外来、病棟診察、集団精神療法に参加しながら先輩医師のやり方を肌で学んでいきます。更にバックアップ体制のもと主治医となり臨床経験を積んで行きます。

当院の研修の特徴は専攻医の成長を上級医が継続してみていけることです。決して暇な病院ではありません。楽しい時、きつい時もたくさんあると思います。しかし、その分、やりがいもあり、経済的な基盤のもと、アルバイトなどをせずに精神科医として十分な時間を研修に注ぐことができます。

そして、何よりも医局が温かい雰囲気のもとお互いに自由に意見を出し楽しく、時に厳しく仕事が出来るのが最大の特徴ではないでしょうか。当院には沢山の見学者が来ますが、その病院らしからぬ外観、そして力動的チーム医療の実践に驚かれます。ぜひ、一度、のぞえ総合心療病院に足を運んで、実感してみてください。

(診療副部長：吉島秀和医師)

医局の構成（2019年4月現在）

のぞえ総合心療病院：常勤医師 15名

精神保健指定医9名、特定医師1名、後期研修医4名、麻酔科専門医

- 精神神経学会専門医 8名 指導医 8名 専攻医 2名
- 女性医師、2名

久留米厚生病院：常勤医師 5名

精神保健指定医4名、後期研修医1名

- 女性医師、1名

出身大学(常勤医師のみ)

慈恵医科大学1名、東京医科大学1名、九州大学1名、熊本大学2名、久留米大学8名、鹿児島大学1名、長崎大学1名、秋田大学1名、福岡大学1名、琉球大学1名、川崎医科大学2名

アクセス

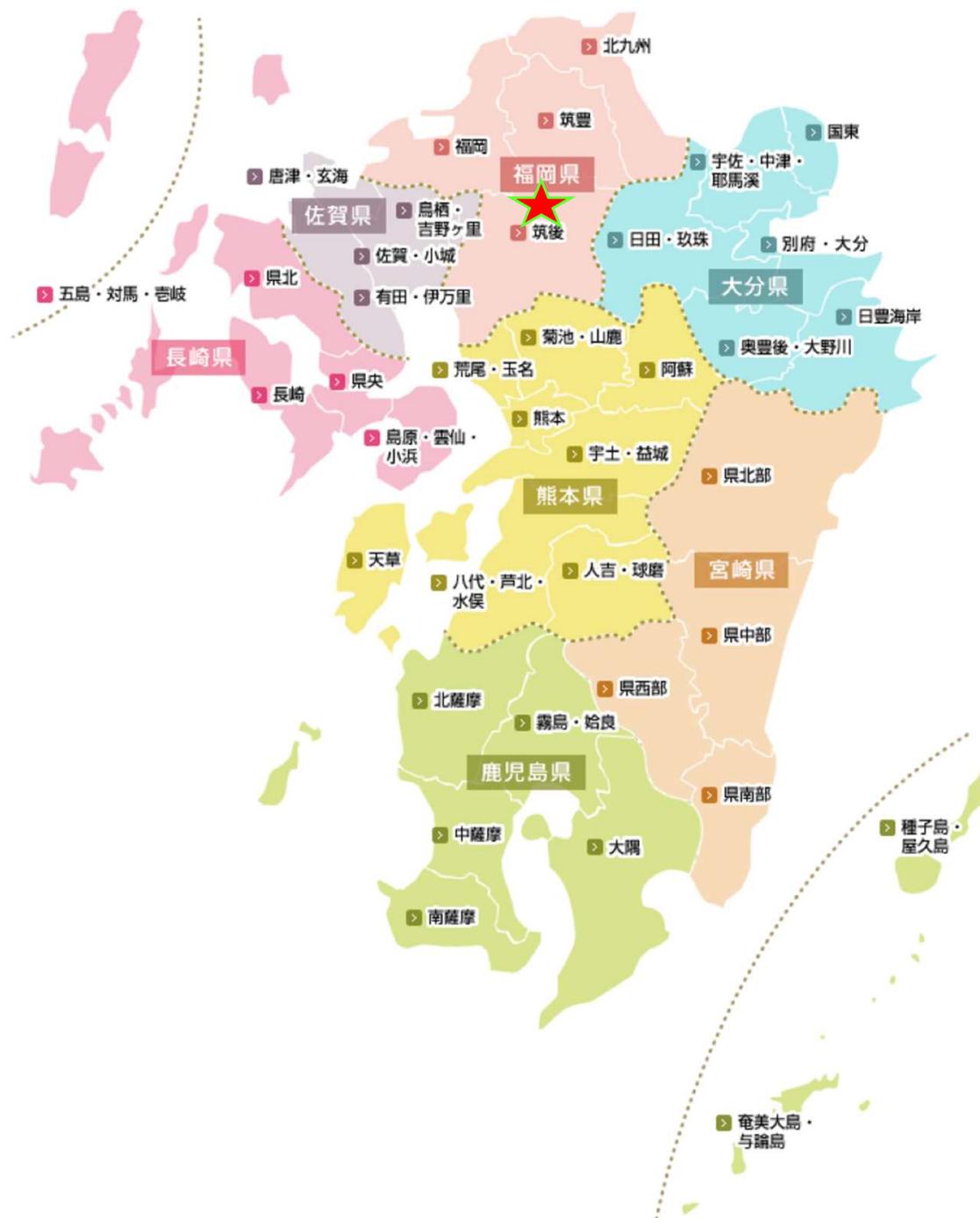
<久留米市の場所>

久留米市は福岡県の南部の筑後地方ある都市。福岡市、北九州市に次いで福岡県では第3位で人口30万、九州全体では第8位の人口です。

JR久留米駅は新幹線駅となり、街の玄関口。

福岡天神まで電車で30分。

高速道路も福岡、大分、熊本、長崎方面のつなぎ目にあり、どこに行くのも便利な場所です。



アクセス

<交通アクセスマップ>

<所在地>

福岡県久留米市藤山町
1730番地

- JR久留米駅・西鉄久留米駅、いずれも西鉄バス（30～33番）に乗り、八女方面行で約20分、野添バス停下車、徒歩3分
- 車の方は、広川インターより約2km、久留米市街地より約5km、国道3号線のぞえ交差点を入り1分程度。



雇用条件

【身分】 常勤職員

【給与】 給与 年俸制(当直費は別途)

【就業日数】 週5日

【研修休暇】 春1週間、夏2週間、秋1週間、冬1週間

【学会・研究会】 出席可能

【諸手当】 当直・日直手当
(のぞえ総合心療病院当直明けは午後半休)

専攻医、後期研修医募集要項

■ 見学日時

随時、見学は受け付けますが、単に入局説明や病院見学だけでなく、病院の雰囲気を感じてもらうため、朝の回診から全体ミーティングなど、様々な治療プログラムに見学参加していただきます。履歴書のみ1通持参して下さい。（※白衣は不要です）

■ 採用の人数、可否について

本年度は3名程度を予定。
採用の可否については後日、こちらより連絡します。

■ メールでの申し込み

電話番号：0942-22-5311

E-mail：nozoe@mtj.biglobe.ne.jp

担当者：プログラム統括責任者 吉島 秀和（診療副部長）